

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	1
事業名	交通安全対策経費	会計	款	項	目
		一般	2	1	11
政策	8 安全と安心を守るために	課名	建設課		
施策	8-2 交通安全・防犯・消費者保護対策の充実	係名	土木係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民（歩行者、ドライバー）、通過・来訪者	目的（対象がどのような状態になっているか）	利用者が安全に通行が出来る道路環境の整備を行う。
事業内容	交通安全対策としてガードレール、転落防止柵、カーブミラー等の設置。また、ライン表示等により利用者の安全を確保する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1	交通死亡事故発生件数	0	0		件		0	
2									
3									
4									
5									
			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B			7,412		9,747		7,858		
財源内訳	直接事業費A		5,432		7,767		5,878		
	うち一般財源		2,938		5,360		3,296		
人件費（千円）B			1,980		1,980		1,980		
内訳	一般職員（人・千円）		0.3		1980		0.30		1980
	臨時職員（人・千円）				0				0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	消えた区画線の復旧を図り、利用者の安全確保のために予算の拡充を図る。	③取組の課題	近年多発する通学路等での事故防止のために事業を拡充する必要がある。
②R4年度に実施した取り組み	通学路安全推進会議（学校）や地域からの要望箇所について、区画線等の整備を実施した。また、通学路では、歩行者の安全対策としてグリーンベルトの設置を試行的に実施した。	④今後の改善計画	通学路のグリーンベルトについて、学校（児童、先生）を対象にアンケート調査を実施した結果、効果的であったため、国の交付金を活用して全町的に計画していく。